

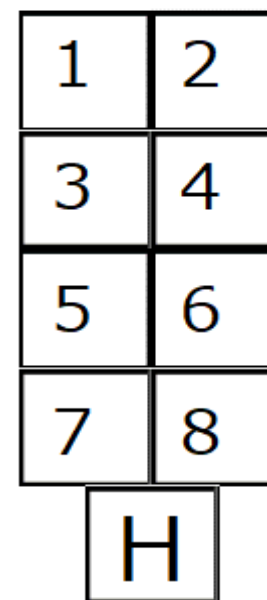
ワールドカフェの意義と効果

- カフェでお茶をしているようなリラックスした雰囲気の中、テーマに沿った対話ができるため、さまざまなアイデアや意見を出しやすい
- 相手の意見に自然と耳を傾けられる
- 自分の意見も尊重される
- 一体感を持った対話ができる
- メンバーの組み合わせを変えながら4～5人単位の小グループで話し合いを続けることで、あたかも参加者全員で話し合っているような効果を得られる

ワールドカフェの進め方（形式・手法）

① 第一ラウンド（テーマについて探求）

- 第一ラウンドでは**8～9名の少人数グループ**に分かれます。
- テーブルに模造紙とペンを用意し、発表された1つの**テーマについて、模造紙に自由にメモをしながら話し合います。**
- 各テーブルにはテーブルホストがおり、進行や意見の取りまとめを行います。



H：テーブルホスト

② 第二ラウンド（アイデアをやりとり）

- 第二ラウンドでは**他のテーブルに移動**します。
- その際テーブルには、**テーブルホストとなった人だけが残**り、それぞれのテーブルに残ったテーブルホストは、新しいメンバーを迎えて簡単な自己紹介をした後、そのテーブルで話し合われた内容を説明し、その後同じテーマについて話し合いを続けます。
- 今回はテーブル移動を **2回**行います。

③ 第三ラウンド（気づきや発見を統合）

- 第三ラウンドでは、他のテーブルに散ったメンバーが最初のテーブルに戻り、移動先で話し合った内容や得た情報などとともに、さまざまな意見やアイデアを出し合います。

④ 全体セッション（集合的な発見を収穫し、共有）

- 第三ラウンドが終わった後の全体セッションでは各テーブルがまとめを発表し、それまでに出てきたアイデアや意見を全員で共有します。

ワールドカフェ進行時のルール

- 発言の際はトーキングオブジェクトを手に持って話す。基本的にトーキングオブジェクトを持って発言時は、発言者以外の人には話さない。
- **発言内容、意見等はテーブルにある模造紙、もしくは付箋に書き留めていく。**
- ラウンド終了の合図は時間になったら司会が挙手をする。それに気がついたメンバーも挙手をし会話を終了する。